

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(令和3年度)

2. 分野別状況(1)国際戦略総合特区

	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
つくば国際戦略総合特区 (茨城県、つくば市、 国立大学法人筑波大学)	3.8	3.7 進捗度 ・連携企業数 108% ・事業・産業創出 (起業、ライセンス アウト、製品化 等) 73% ・事業化に伴う株 式公開(IPO)件 数 定性評価	3.4 規制の特例等 ・搭乗型移動 支援ロボットの 規制緩和 等 地域独自の取組 ・ロボットスーツ 治験事業 等	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・新計画の初年度であることに加えコロナ禍の影響もあり、あまり進捗が芳しくない項目があるものの、当該分野の将来性を考えるとある程度肯定的な評価ができるのではないかと考えた。また、当該特区内にある国際輸送インフラ(成田空港、茨城港)あるいは国内輸送インフラ(茨城空港)は以降の転換を考えるともっと積極的に関わっていくように調整することが望ましいと考える。 ・BNCTの取り組みを進めて成果につなげていること、ゲノム編集作物の商品化等、具体的な成果につなげていることは高く評価される。金融制度、税制等積極的な事業展開を一層展開することを期待する。 ・BNCTは内外から注目・期待される医療技術にて、今後の実用化に向けての発展を期待する。 ・TGIの仕組みは、他地域・領域におけるプロジェクト管理にも大変参考になるものと思われる。